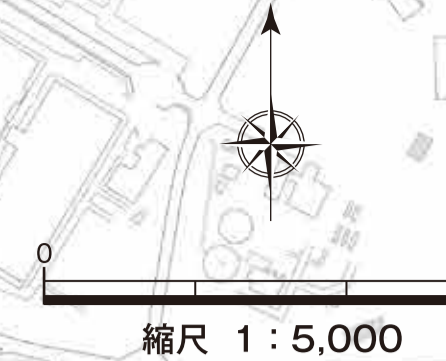


名張市洪水・土砂災害ハザードマップ 2019年版〈蔵持地域〉



- 市指定避難所**
 地震等による家屋の倒壊、焼失や風水害などで被害を受けた方又は現に被害を受けるおそれのある方を一定期間受け入れ、保護するために開設する学校、市民センター等の建物のことをいいます。
- 市指定避難地**
 地震等により発生する延焼火災や風水害等から避難者の安全を確保できるスペースを有する公園、学校のグラウンドなどのことをいいます。
- 地域が定める一時避難場所**
 各地域づくり組織や区・自治会などが自主的に定めている避難場所をいい、市指定避難所、避難地に避難する前に、近隣の避難者が一時的に集合して様子を見る場所又は避難者が避難のために一時的に集団を形成する場所で、集合した人々の安全が確保される公園や集会所などのことをいいます。
- 福祉避難所**
 市が、地震、風水害等発生時に、市指定避難所での生活が困難で、避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする人を一時的に受け入れて保護するための施設をいいます。

●市指定避難所・避難地一覧

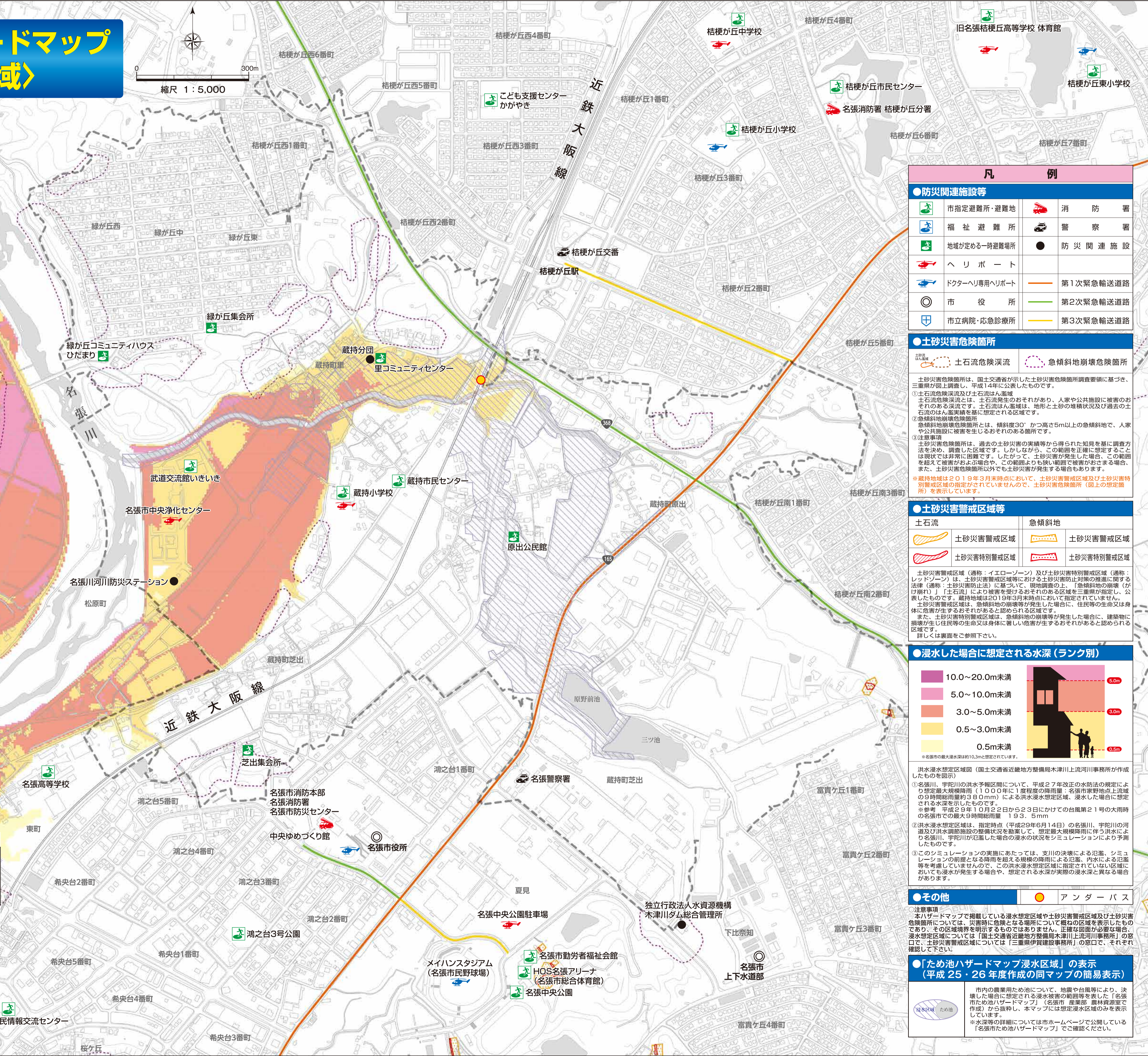
地域	名称	所在地	電話	避難所	避難地
蔵持	蔵持小学校	蔵持町原出338番地	63-0068	●	●
	蔵持市民センター	蔵持町原出314番地3	63-0235	●	●
	武道交流館いきいき	蔵持町里2928番地	62-4141	●	●

※浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内及び土砂災害危険箇所内等にある市指定避難所、福祉避難所については、災害の種類、規模、現地の状況に応じて、市が開設の可否を決定します。

●地域が定める一時避難場所

名称	所在地
緑が丘コミュニティハウスひだまり	名張市緑が丘西地内
緑が丘集会所	名張市緑が丘東地内
原出公民館	名張市蔵持町原出地内
里コミュニティセンター	名張市蔵持町里地内
芝出集会所	名張市蔵持町芝出地内

2019年作成 この地図に記載している地域の境界線は、名張市が、名張市洪水・土砂災害ハザードマップの作成にあたって、参考として独自に調整した概ねの線であり、所有権等の権利関係を明示するものではありません。



凡例

●防災関連施設等	
	市指定避難所・避難地
	福祉避難所
	地域が定める一時避難場所
	ヘリポート
	ドクターヘリ専用ヘリポート
	市役所
	市立病院・応急診療所
	消防署
	警察署
	防災関連施設
	第1次緊急輸送道路
	第2次緊急輸送道路
	第3次緊急輸送道路

●土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所は、国土交通省が示した土砂災害危険箇所調査要領に基づき、三重県が国土調査し、平成14年に公表したものです。

①土石流危険箇所とは、土石流発生のおそれがあり、人家や公共施設に被害のおそれのある箇所です。土石流は、地形と土砂の堆積状況及び過去の土石流の痕跡を基に想定される区域です。

②急傾斜地崩壊危険箇所とは、傾斜度30°かつ高さ5m以上の急傾斜地で、人家や公共施設に被害を生じおそれのある箇所です。

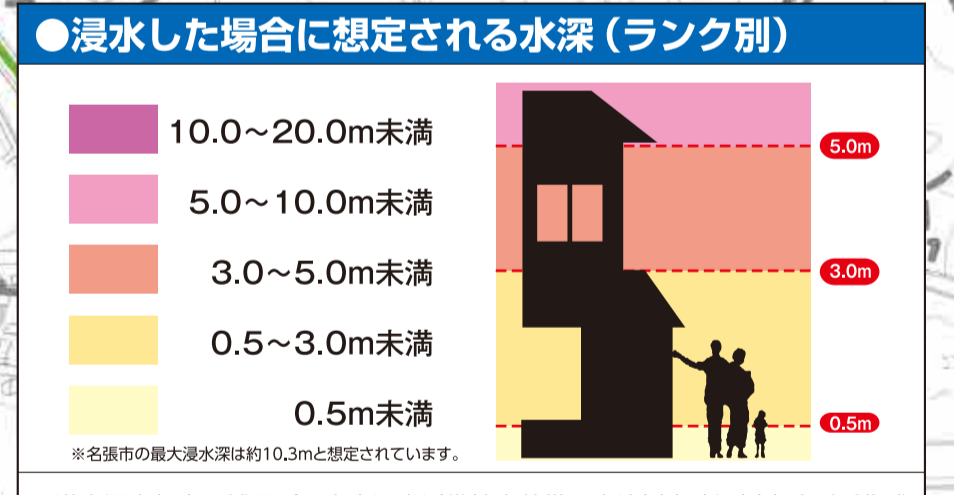
③注意事項
土砂災害危険箇所は、過去の土砂災害の実績等から得られた知見を基に調査方法を決め、調査した区域です。しかしながら、この範囲を正確に想定することは現状では非常に困難です。したがって、土砂災害が発生した場合、この範囲を超えて被害がおよぶ場合や、この範囲よりも狭い範囲で被害がおよぶ場合、また、土砂災害危険箇所以外で土砂災害が発生する場合があります。

※蔵持地域は2019年3月末時点において、土砂災害警戒区域（図上の想定箇所）を指定されていません。

●土砂災害警戒区域等

土石流	急傾斜地
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律（通称：土砂災害防止法）に基づき、現地の状況（急傾斜地の崩壊（かけ崩れ）、「土石流」により被害を受けるおそれのある区域を三重県が指定し、公表したものです。蔵持地域は2019年3月末時点において指定されていません。土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずると認められる区域については裏面をご参照下さい。



洪水浸水想定区域図（国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所が作成したものを図示）

①名張川、宇陀川の洪水予報区間について、平成27年改正の洪水法の規定により想定最大規模降雨（1000年に1度程度の降雨量：名張市家野地点上流域の9時間総雨量約380mm）による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を示したものです。

※参考 平成29年10月22日から23日にかけての台風第21号の大雨時の名張市での最大9時間総雨量 193.5mm

②洪水浸水想定区域は、指定時点（平成29年6月14日）の名張川、宇陀川の河道及び洪水前線位置の整備状況を基に、想定最大規模降雨による浸水により名張川、宇陀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

③このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

●その他

注意事項
本マップで掲載している浸水想定区域や土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所については、災害時に危険となる場所について概ねの区域を表示したものであり、その区域境界を明示するものではありません。正確な図面が必要な場合、浸水想定区域については「国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所」の窓口で、土砂災害警戒区域については「三重県伊賀建設事務所」の窓口で、それぞれ確認して下さい。

●「ため池ハザードマップ浸水区域」の表示（平成25・26年度作成の同マップの簡易表示）

市内の農業用ため池について、地震や台風等により、決壊した場合に想定される浸水被害の範囲等を表した「ため池ハザードマップ」（名張市 産業部 農林資源課で作成）から抜粋し、本マップには浸水想定区域のみを表示していません。

※水深等の詳細については市ホームページで公開している「名張市ため池ハザードマップ」をご確認ください。